

# Julabo Case Study 15

## JULABO PRESTO® A40

10リットルのガラス反応容器を用いて、  
+100°Cから+200°Cまでの加熱運転を実施。



### 目的

10 Lのガラス製反応容器を用いて JULABO PRESTO A40 の  
加温試験を実施しました。A40 は 2.0 m の金属チューブ 2本  
を介して反応容器に接続されています。

A40 は+100°Cから+200°Cの範囲でプログラムされています。

### テスト条件

製品型式	JULABO Presto A40
冷却能力	+20 °C 1.2 kW
	0 °C 0.9 kW
	-20 °C 0.6 kW
ヒーター能力	2.7 kW
帯域制限	なし
吐出圧	0.40 bar
循環液	JULABO Thermal HL40
反応容器	10L ガラス製反応容器 (Normag社製)
	内部を JULABO Thermal HL40 10L で満たす
温度制御	外部制御(ICC)

### 環境

室温	+20°C
湿度	45%
電圧	230V/50Hz



### テスト結果

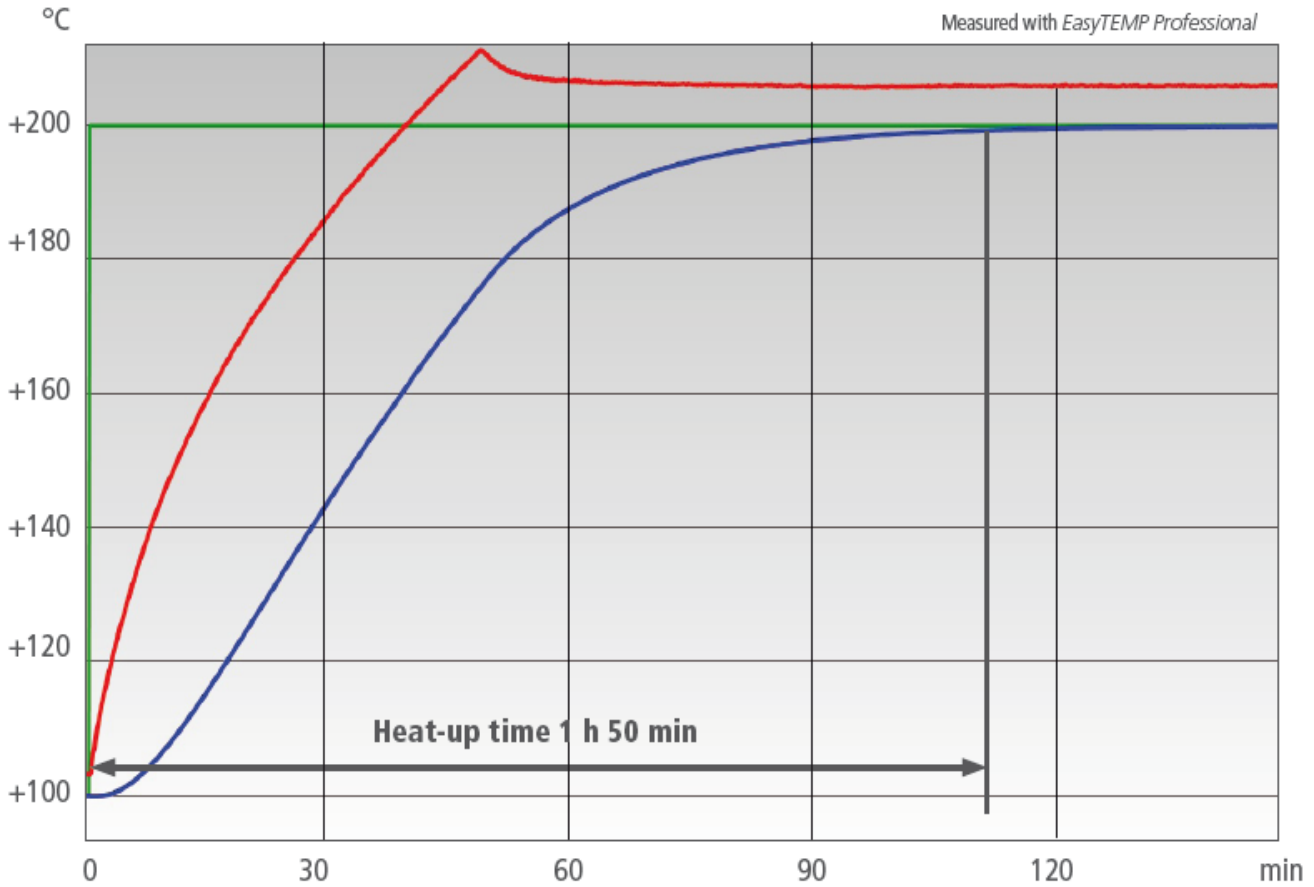
次ページのグラフを参照してください。

A40 は加温制御において+100°Cから+200°Cまでオーバーシュート  
することなく 50 分で到達しました。

### 特徴

PTFE コーティングされた  
Pt100 センサーが使用可能  
です。





- Setpoint 設定温度
- Temperature in reactor's interior 反応容器内の温度
- Temperature in reactor's jacket ジャケット温度

### 特徴

吐出圧力を任意の数値にて制御します。プレストでは希望する圧力にて設定することが可能です。



### 特徴

プレストではイーサネットインターフェースを使ってすべての操作へアクセスする機能を有しています。

